

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
フォローアップ報告書（大会開催前）

（夢の島公園アーチェリー場）

令和元年 6 月

東 京 都

目 次

1. 東京 2020 大会の正式名称	1
2. 東京 2020 大会の目的	1
2.1 大会ビジョン	1
2.2 都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～	1
3. 東京 2020 大会の概要	2
3.1 大会の概要	2
3.2 東京 2020 大会の環境配慮	2
4. 夢の島公園アーチェリー場の計画の目的及び内容	4
4.1 目 的	4
4.2 内 容	4
5. 計画の更新	8
5.1 計画の更新の理由及び概要	8
5.2 計画の更新に伴う環境影響評価の項目及び予測・評価の見直し	12
6. フォローアップ調査の内容	16
6.1 事業の基本計画	16
6.2 施工計画	19
6.3 供用の計画	22
6.4 環境保全に関する計画等への配慮の内容	22
6.5 調査結果の概略	25
6.6 フォローアップの実施者	27
6.7 その他	27
6.8 調査の結果	31
6.8.1 生物の生育・生息基盤	31
6.8.2 生物・生態系	37
6.8.3 緑	42
6.8.4 自然との触れ合い活動の場	47
6.8.5 廃棄物	54
6.8.6 エコマテリアル	60
6.8.7 公共交通へのアクセシビリティ	64
6.8.8 交通安全	68
6.8.9 その他の項目に係るミティゲーションの実施状況	74

1. 東京 2020 大会の正式名称

第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京）

東京 2020 パラリンピック競技大会

2. 東京 2020 大会の目的

2.1 大会ビジョン

東京 2020 大会の開催を担う公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「大会組織委員会」という。）は、2015 年 2 月に国際オリンピック委員会、国際パラリンピック委員会に提出した「東京 2020 大会開催基本計画」において以下の大会ビジョンを掲げている。

スポーツには、世界と未来を変える力がある。
1964 年の東京大会は日本を大きく変えた。2020 年の東京大会は、
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、
「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、
「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を 3 つの基本コンセプトとし、
史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

2.2 都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～

東京都は、平成 28 年 12 月に策定した「2020 年に向けた実行プラン」において、「都民ファーストの視点で 3 つのシティを実現し、新しい東京をつくる」ことを示している。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）の成功に向けた取組を分野横断的な政策の展開に位置付け、「東京 2020 大会の成功は、東京が持続可能な成長をしていくための梃子であり、そして、ソフト・ハード面での確かなレガシーを次世代に継承していかなければならない」としている。

東京 2020 大会実施段階環境アセスメント（以下、「本アセスメント」という。）の実施にあたっては、適宜「2020 年に向けた実行プラン」を参照し進めていく。

都民FIRST(ファースト)の視点で、3つのシティを実現し、新しい東京をつくる

東京 2020 大会の成功とその先の東京の未来への道筋を明瞭化

【計画期間】2017（平成 29）年度～2020（平成 32）年度

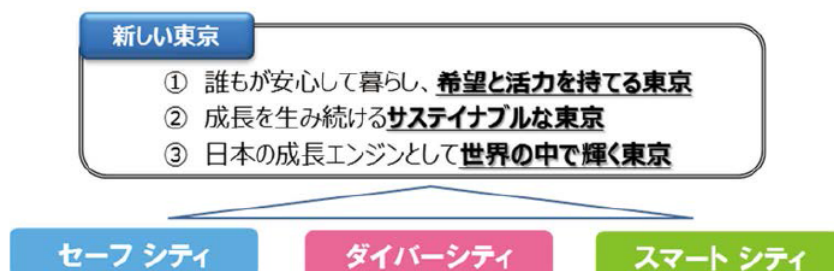


図 2.2-1 「2020 年に向けた実行プラン」における 3 つのシティ

3. 東京 2020 大会の概要

3.1 大会の概要

大会組織委員会は、東京 2020 大会において、オリンピック競技大会は 7 月 24 日の開会式に続いて、7 月 25 日から 8 月 9 日までの 16 日間で開催し、閉会式は 8 月 9 日に予定している。また、パラリンピック競技大会は 8 月 25 日から 9 月 6 日までの開催を予定している。

実施競技数は、オリンピック 33 競技、パラリンピック 22 競技である。

3.2 東京 2020 大会の環境配慮

大会組織委員会は、「東京 2020 大会開催基本計画（2015 年 2 月策定）」の中で、東京 2020 大会は、単に 2020 年に東京で行われるスポーツの大会としてだけでなく、2020 年以降も含め、日本や世界全体に対し、スポーツ以外も含めた様々な分野でポジティブなレガシーを残す大会として成功させなければならないとし、「東京 2020 アクション&レガシープラン 2016（2016 年 7 月策定）」において、街づくり・持続可能性に関する以下のレガシーとアクションを示した。

表 3.2-1 街づくりに関するレガシーとアクション

レガシー	アクション
「ユニバーサル社会の実現・ユニバーサルデザインに配慮した街づくり」	競技施設、鉄道駅等のユニバーサルデザインの推進、アクセシブルな空間の創出等、ユニバーサルデザインに配慮した街の実現
「魅力的で創造性を育む都市空間」	都市空間の賑わいの創出、公園・自然環境等の周辺施設との連携
「都市の賢いマネジメント」	I C T の活用、エリアマネジメント活動の活性化等
「安全・安心な都市の実現」	安全・安心のための危機管理体制の構築

表 3.2-2 持続可能性に関するレガシーとアクション

レガシー	アクション
「持続可能な低炭素・脱炭素都市の実現」	気候変動対策の推進、再生可能エネルギーなど持続可能な低炭素・脱炭素エネルギーの確保
「持続可能な資源利用の実現」	資源管理・3 R の推進
「水・緑・生物多様性に配慮した快適な都市環境の実現」	生物多様性に配慮した都市環境づくりや大会に向けた暑さ対策の推進
「人権・労働慣行等に配慮した社会の実現」	調達等における人権・労働慣行等に配慮した取組の推進
「持続可能な社会に向けた参加・協働」	環境、持続可能性に対する意識の向上、参加に向けた情報発信・エンゲージメントの推進

また、組織委員会は、東京 2020 大会における持続可能性への配慮を最大化し、持続可能な開発に貢献するため、「持続可能性に配慮した運営計画」を策定している。

2017 年 1 月には、「持続可能性に配慮した運営計画 第一版」を策定し、持続可能性の概念の重要性や東京 2020 大会ビジョンとの関係性、また、東京 2020 大会が目指すべき方向性や計画の位置づけについて記載し、東京 2020 大会が取り組む持続可能性に関する 5 つの主要テーマ「気候変動」、「資源管理」、「大気・水・緑・生物多様性等」、「人権・労働、公正な事業慣行等への配慮」及び「参加・協働、情報発信（エンゲージメント）」を示した。

2018 年 6 月には、「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」を策定し、持続可能性に配慮した競技大会を目指す意義として SDGs への貢献を明確化している。「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」の基本的な考え方は、表 3.2-3 に示すとおりである。

表 3.2-3 「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」の基本的な考え方

基本理念	・世界最大規模のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックは世界規模の影響 ・東京 2020 大会は、大会の準備運営に持続可能性を組み込み、その責任を果たすことで貢献 ・大会の持続可能性のコンセプト「be better, together / より良い未来へ、ともに進もう。」
持続可能性の主要テーマ	持続可能性の 5 つの主要テーマは、環境・経済・社会の側面に統合的に取り組むことから、SDGs の目標等の全体に幅広く関連
関係組織	組織委員会を核として、都、国、関係自治体、スポンサー等との連携の下に実施
運営計画の適用範囲	主体として直接管理する範囲に加え、影響を及ぼすことができる範囲についても考慮
持続可能な発展の統治原則	持続可能性における基本的な価値観である 4 つの統治原則（持続可能性への責任、包摂性/利害関係者の参画、誠実性、透明性）を尊重
マネジメントの仕組み、ツール	取組を確実に実施するため、イベントの持続可能性をサポートするための国際規格である ISO20121 の導入や「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用等を推進

4. 夢の島公園アーチェリー場の計画の目的及び内容

4.1 目 的

夢の島公園アーチェリー場（旧名称：アーチェリー会場（夢の島公園））は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）のアーチェリー会場として利用するため、競技場（決勝会場：仮設、予選会場：新設）を整備する計画である。また、東京2020大会後は、新設する予選会場については、アーチェリーを中心に、都民・公園利用者に対し様々なスポーツの機会を提供していくことを想定している。

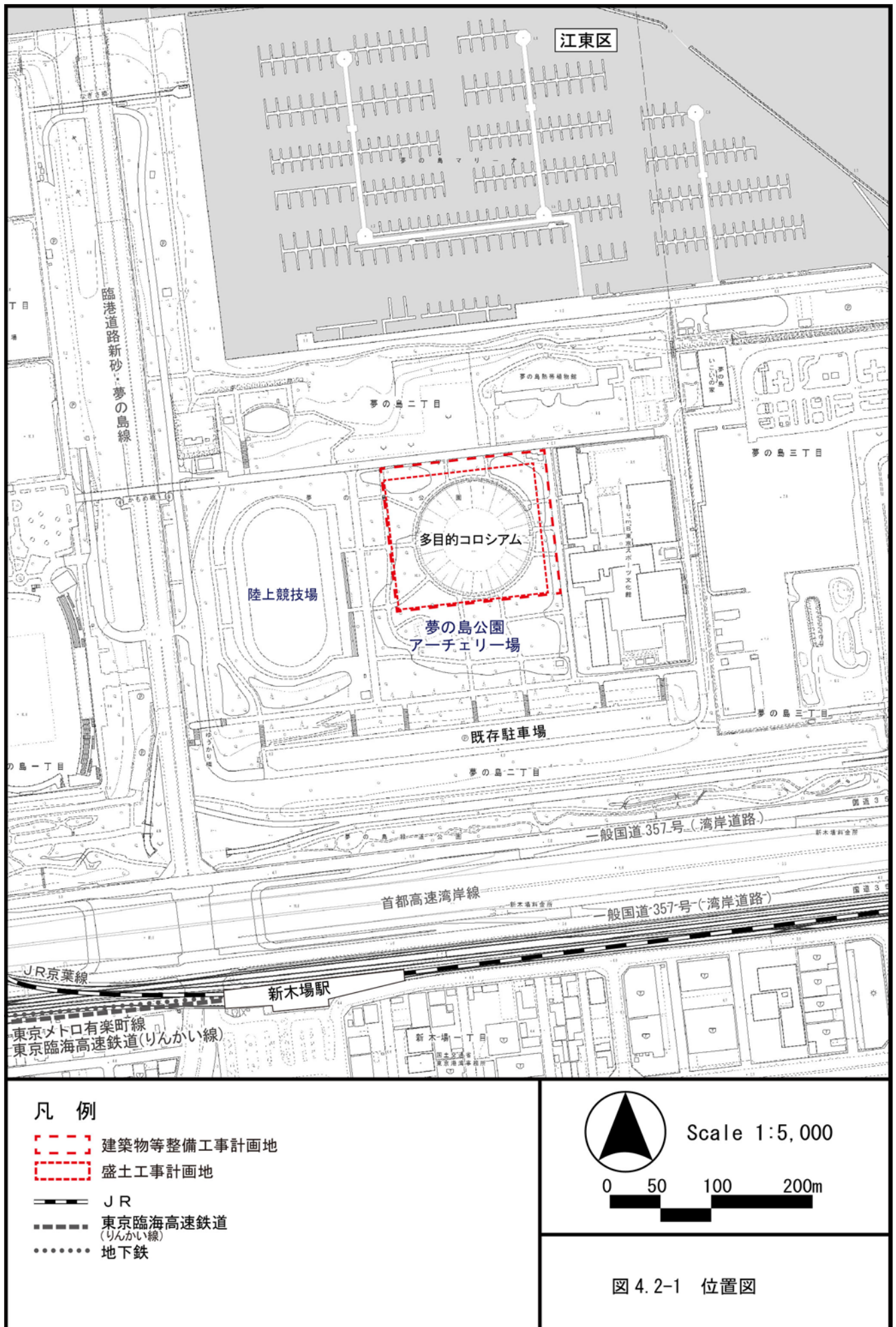
本事業は、アーチェリー会場の整備のうち、新設の予選会場のフィールドを整備するため、既存の多目的コロシアム（鉢状の芝生広場部分）を盛土し、建築物等を整備したものである。

4.2 内 容

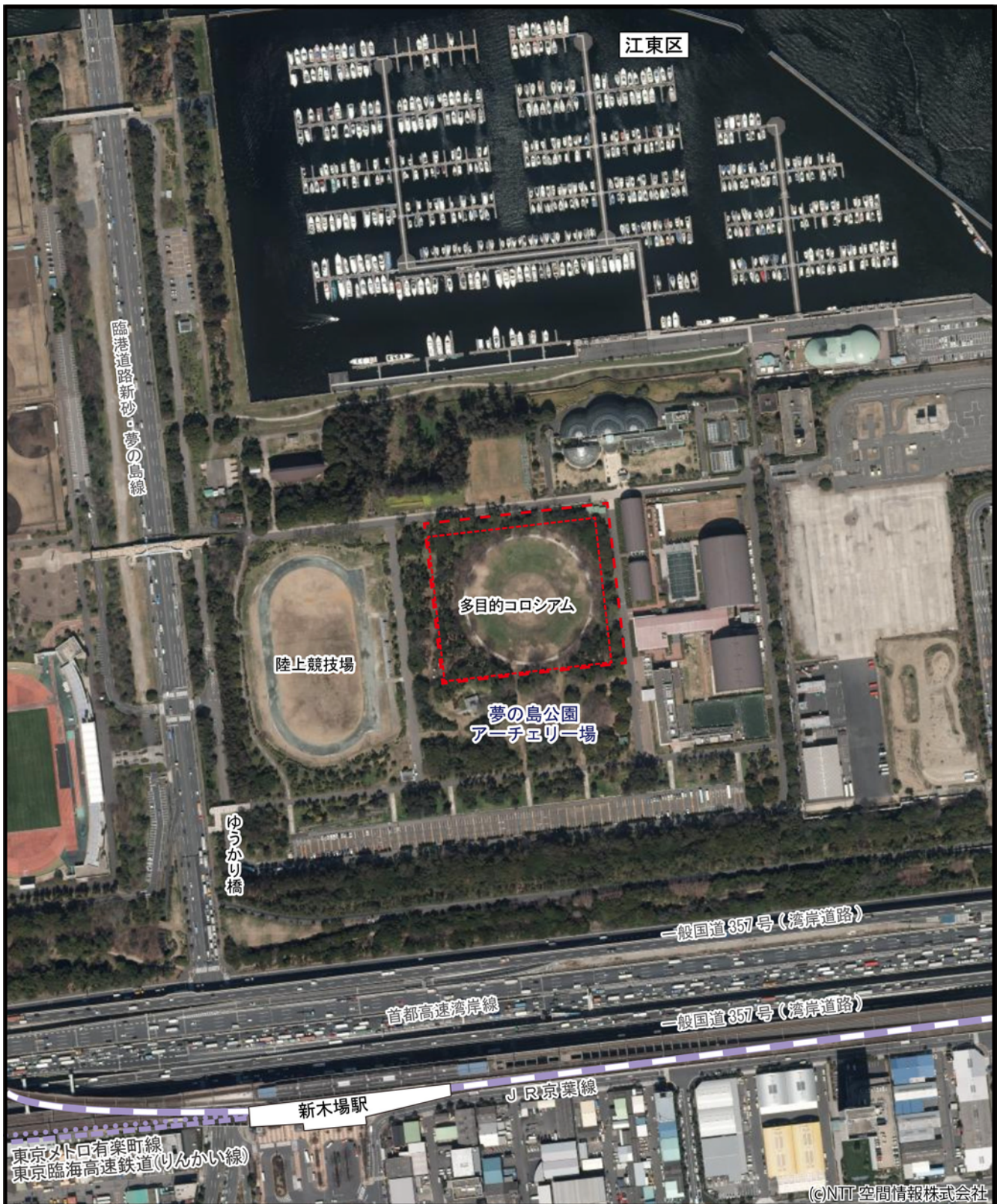
4.2.1 位 置

評価書の対象となる予選会場の盛土工事を実施する範囲（以下、「計画地」という。）の位置は、江東区夢の島二丁目にあり、盛土工事の工事施工範囲を含めた建築物等整備工事の工事施工範囲は約23,000m²である。

4. 夢の島公園アーチェリー場の計画の目的及び内容



4. 夢の島公園アーチェリー場の計画の目的及び内容



凡 例

- 建築物等整備工事計画地
- 盛土工事計画地
- JR
- 東京臨海高速鉄道 (りんかい線)
- 地下鉄



Scale 1:5,000

0 50 100 200m

写真4. 2-1

計画地周辺の航空写真

4.2.2 事業の基本構想

(1) 計画の基本方針

計画の基本方針は、以下のとおりである。

- ・アーチェリーを中心に、都民・公園利用者に対し、様々なスポーツの機会を提供する。
- ・夢の島ユース・プラザ・アリーナA及びBの新設中止と、夢の島競技場で整備予定であった馬術の競技会場を馬事公苑に変更したことから、公園全体で施設配置の変更が可能となったことを受け、公園の緑や利用者への影響に配慮して、配置を計画した。

4.3 夢の島公園アーチェリー場の計画の策定に至った経過

夢の島公園アーチェリー場は、立候補ファイルにおいて、オリンピック及びパラリンピックのアーチェリー会場として利用するため、公園内の多目的コロシアム南側の緑地部分に決勝会場を仮設、予選会場を新設する計画としていた。

東京都は、招致の時点で作成した会場計画について都民の理解を得て実現できるよう、大会組織委員会とともに、「レガシー」、「都民生活への影響」、「整備費」の3つの視点で会場計画の再検討を行うこととした。

会場再検討の結果、公園内に整備を予定していた夢の島ユース・プラザ・アリーナA及びBの新設を中止するとともに、夢の島競技場で実施予定であった馬術の競技会場を馬事公苑に変更したことから、公園全体で配置計画を見直すことが可能となった。そのため、公園の緑や利用者への影響に配慮し、公園全体で最適な施設配置について検討を行った結果、予選会場（新設）は多目的コロシアムの位置に、決勝会場（仮設）は陸上競技場の位置に配置することとなった。

なお、2018年10月の組織委員会の理事会において、本会場の大会時に使用する名称は「アーチェリー会場（夢の島公園）」から「夢の島公園アーチェリー場」へと変更されることについて、IOCの承認が得られ、決定したことが報告された。

5. 計画の更新

5.1 計画の更新の理由及び概要

評価書公表時点で未定であった予選会場の建築物等の整備内容を反映し、表 5.1-1に示すとおり基本計画を更新する。

表 5.1-1 主な計画の更新内容及びその理由の概要

項目	更新内容及びその理由の概要
(1) 基本計画	予選会場の建築物等の整備内容について、配置計画等に反映する。
(2) 施工計画	予選会場の建築物等の整備内容について、工事工程等に反映する。

本事業では、平成28年1月18日に評価書案を、同年7月28日に評価書をそれぞれ公表しているが、これらの評価書等では、夢の島公園アーチェリー場に係る計画のうち、新設の予選会場の盛土工事を環境影響評価の対象とした。諸元が具体化されていなかった予選会場の建築物等や組織委員会が整備する仮設施設については、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討することとしていたため、これら施設等の諸元の具体化に合わせ、環境影響評価の項目の再検討を実施した。

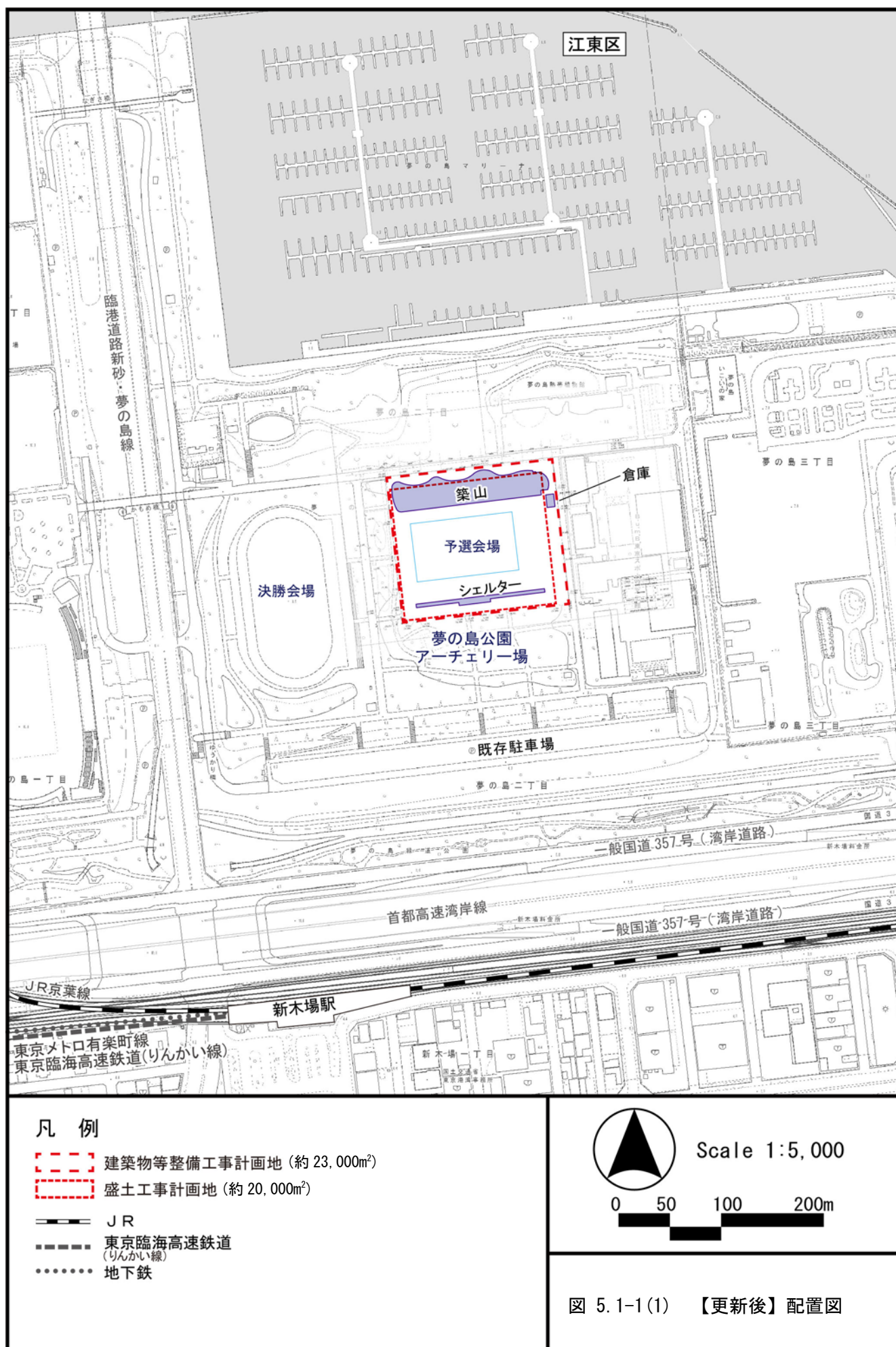
予選会場の建築物等の概要及び配置図については、表 5.1-2及び図 5.1-1(1)に示すとおり、建築物の最高高さは8.7m、建築面積は448m²であり、建築物等整備工事計画地内に配置されている。

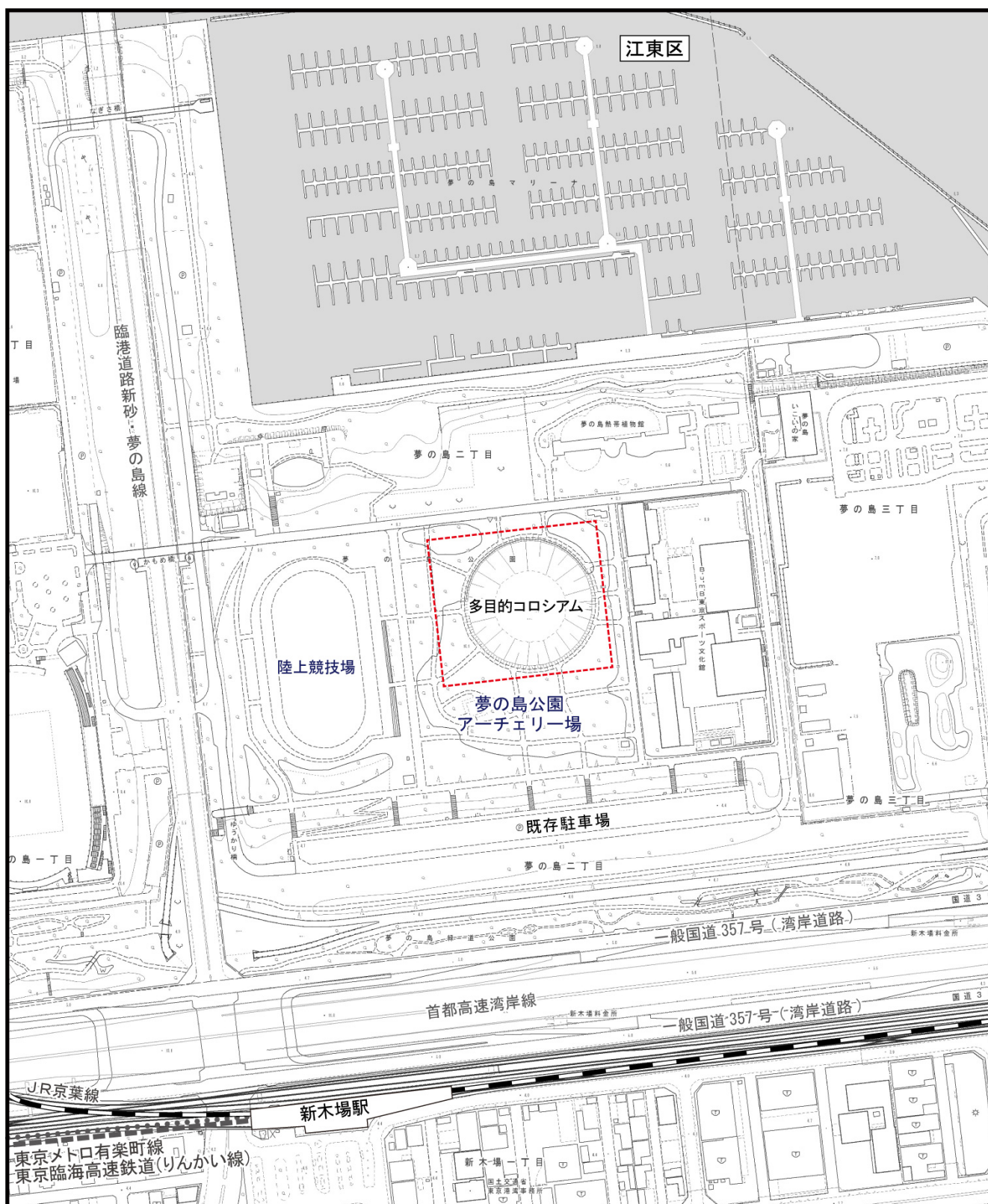
築山（矢止め）の造成は、盛土工事と合わせて実施している。盛土工事においては、25,990m³の土量の搬入を行ったものの、盛土の後の沈下が想定より少なかった。そのため、築山（矢止め）整備には盛土工事で残った土量9,600m³に、場外からの搬入土1,482m³を合わせて使用した。なお、場外から搬入した土量のうち932m³は、夢の島公園内の別工事における発生土であり、夢の島公園外からの搬入は550m³であった。

また、組織委員会が整備する仮設施設については、事業計画概要報告書を作成し、平成31年3月15日に評価委員会で環境影響評価項目の選定に関して検討した結果等について、すでに報告を行っている。

表 5.1-2 建築物等の概要

項目	シェルター	倉庫	築山（矢止め）
建築面積 （建築面積）	448m ²	89.5m ²	3,953m ²
最高高さ	8.7m	3.6m	－
用途	競技中の待機場所、 日よけ、運営本部	倉庫	矢止め





凡 例

- 計画地
- J R
- 東京臨海高速鉄道
(りんかい線)
- 地下鉄



Scale 1:5,000

0 50 100 200m

図 5.1-1 (2) 【更新前】配置図



写真 5.1-1(1) 建築物（シェルター）の整備状況



写真 5.1-1(2) 建築物（倉庫）の整備状況



写真 5.1-1(3) 築山（矢止め）の整備状況

5.2 計画の更新に伴う環境影響評価の項目及び予測・評価の見直し

「5.1 計画の更新の理由及び概要」に示したとおり、夢の島公園アーチェリー場については、盛土工事について、生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、エコマテリアル、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全の8項目の環境影響評価の項目を選定し、評価書及びフォローアップ計画書を公表している。また、評価書及びフォローアップ計画書時点では建築物等の整備計画は具体化されていなかったため、東京 2020 大会の及ぼす影響を、全体計画で評価する項目を除いた、大気等、水質等、土壌、水循環、騒音・振動、日影、景観、歩行者空間の快適性、史跡・文化財、水利用、温室効果ガス、エネルギー、土地利用、地域分断、移転、安全、消防・防災、交通渋滞の 18 項目については、環境影響評価の項目を再検討することとした。

今般、建築物等の整備計画の具体化に合わせ、評価書において選定した 8 項目及び再検討する 18 項目について、表 5.2-1 に示す環境影響要因を勘案し、環境影響評価を検討する項目として選定した。その上で、評価書において環境影響評価を実施している事項については、表 5.2-2 に示すとおり予測・評価の見直しの必要性を検討した。また、評価書において環境影響評価を実施していない事項については、表 5.2-3 に示すとおり予測・評価の必要性を検討した。その結果、予測・評価が必要となる項目及び予測・評価の見直しが必要となる項目はなかった。

表 5.2-1 抽出した環境影響要因

区分	環境影響要因		内容
開催前	恒久施設	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
		建設機械の稼働	建設工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響
		建築物の出現	建設工事終了後の建築物の出現や建築物の存在に伴う影響
	仮設施設	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
		建設機械の稼働	建設工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響
		建築物の出現	建設工事終了後の仮設施設の出現や仮設施設の存在に伴う影響
開催中	競技の実施		競技の実施に伴う影響
	大会の運営		大会開催中の関係車両の発生集中交通、会場設備等の稼働、その他大会の運営に伴う影響
開催後	仮設施設	解体工事	東京 2020 大会の仮設施設の解体工事に伴う影響
		工事用車両の走行	解体工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
		建設機械の稼働	解体工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響
	恒久施設	設備等の持続的稼働	東京 2020 大会後の施設の継続的利用に伴う影響

注) 網掛けは、本資料では対象としない環境影響要因を示す。なお、仮設施設に係る環境影響要因については、事業計画概要報告書で検討結果について報告したほか、大会開催中の競技の実施及び大会の運営に係る環境影響要因については、実施段階環境影響評価（全体計画・競技）で対象とする。

表 5.2-2 予測・評価の見直しの必要性の検討結果

環境影響 評価の項目	予測・評価の見直しの必要性	検討結果 ^{注)}
生物の生育・生息基盤	【生物・生態系の賦存地の改変の程度】 【新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度】 基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
生物・生態系	【陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度】 【陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度】 【生育・生息環境の変化の内容及びその程度】 【生態系の変化の内容及びその程度】 基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
緑	【植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度】 基本計画及び施行計画の変更により、計画地の範囲が拡大したものの、緑の著しい減少はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
自然との触れ合い活動の場	【自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度】 【自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度】 【自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度】 基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
廃棄物	【廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等】 基本計画及び施行計画に変更が生じたが、建築物整備は、地下躯体を構築するような大規模な工事を行わなかったことから、建設廃棄物の発生量は僅かであった。また、築山（矢止め）の整備については、建設発生土の場外搬出は行わなかった。 以上のことから、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
	計画で整備する建築物は、小規模であり、持続的稼動における廃棄物の発生量は僅かである。	×
エコマテリアル	【エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度】 施行計画の変更が生じたが、エコマテリアル利用の取組に変化はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
公共交通へのアクセシビリティ	【会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度】 施工計画の変更が生じるが、公共交通機関から計画地の周辺及び計画地までのアクセス経路における歩車道線分離の状況に変化はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×
交通安全	【交通安全の変化の程度】 施工計画の変更が生じるが、公共交通機関から計画地の周辺及び計画地までのアクセス経路における歩車道線分離の状況に変化はなかったため、予測・評価の見直しは行わなかった。	×

注) 検討結果の×は、計画の具体化に伴い予測・評価の見直しの必要性を検討した結果、必要性がない事項を示す。

表 5.2-3(1) 予測・評価の必要性の検討結果

環境影響 評価の項目	予測・評価の必要性	検討結果 ^{注)}
大気等	盛土工事に係る工事用車両の台数（概ね 60 台/日程度）が主な計画地周辺道路の現況交通量（都道 306 号王子千住南砂町線（明治通り）で約 27,000 台/日、一般国道 357 号（湾岸道路）及び首都高速湾岸線で約 142,000 台/日）と比べて僅かであること、工事用車両の走行が考えられる都道 306 号王子千住南砂町線（明治通り）と接続する臨港道路新砂・夢の島線沿道には、住居等が存在しないことから、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園）」（平成 28 年 7 月 東京都）において、盛土工事に係る工事用車両の走行による影響はほとんどないと考えられた。 建築工事の工事用車両（盛土工事及び建築工事の合計）についても、ピークの 60 台/日を上回らないため、工事用車両の影響はほとんどないとする。 また、本計画は、小規模な建築工事を行うものであり、盛土工事と比べて建設機械の稼働台数は僅かであることから、大気等への影響はほとんどないと考えられる。	×
水質等	建築物等整備工事に伴う排水は、下水排除基準を遵守した上で公共下水道に放流される。このことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。	×
土壌	基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかった。 計画地は廃棄物処分場として埋め立てられ、昭和 42 年に竣工した土地に位置している。対象地は、埋立てに伴う廃棄物層の上に、公園整備に伴う客土がなされた地中構造を有しているが、有害物質に汚染された土壌を埋め立てた経緯はない。環境確保条例第 117 条第一項に基づく土地利用の履歴等調査の結果、計画地は昭和 53 年に夢の島公園として開園しているが、それ以前については土地利用はなされていなかった。その後、現在に至るまで、計画地には有害物質の取扱事業場が存在した履歴はない。また、廃棄物の埋立てにより廃棄物層底面下の土壌に汚染のおそれがあるものの、本計画は小規模な建築物等の設置を行うものであり、廃棄物層底面下の土壌の改変を生じることはない。	×
水循環	本計画は、小規模な建築物等の設置工事を行うものであり、水循環に影響を及ぼすような大規模な地表面被覆の改変や地下躯体の設置は実施しないことから、水循環の状況に変化は生じない。	×
騒音・振動	盛土工事に係る工事用車両の台数（概ね 60 台/日程度）が主な計画地周辺道路の現況交通量（都道 306 号王子千住南砂町線（明治通り）で約 27,000 台/日、一般国道 357 号（湾岸道路）及び首都高速湾岸線で約 142,000 台/日）と比べて僅かであること、工事用車両の走行が考えられる都道 306 号王子千住南砂町線（明治通り）と接続する臨港道路新砂・夢の島線沿道には、住居等が存在しないことから、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園）」（平成 28 年 7 月 東京都）において、盛土工事に係る工事用車両の走行による影響はほとんどないと考えられた。 建築工事の工事用車両（盛土工事及び建築工事の合計）についても、ピークの 60 台/日を上回らないため、工事用車両の影響はほとんどないとする。 また、本計画は、小規模な建築工事を行うものであり、盛土工事と比べて建設機械の稼働台数は僅かであることから、騒音・振動の影響はほとんどないと考えられる。	×

注) 検討結果の×は、計画の具体化に伴い予測・評価の必要性を検討した結果、必要性がない事項を示す。

表 5.2-4(2) 予測・評価の必要性の検討結果

環境影響 評価の項目	予測・評価の必要性	検討結果 ^{注)}
日影	計画地は夢の島公園内に位置している。また、建築物の最高高さは8.7mであり、大規模な建築物の新設は行わないことから、建築物の出現に伴う日影が影響を及ぼすおそれは小さい。	×
景観	計画地は夢の島公園内に位置している。また、建築物の最高高さは8.7mであり、大規模な建築物の新設は行わないことから、建築物の出現に伴い景観に影響を及ぼすおそれは小さい。	×
歩行者空間 の快適性	計画地は夢の島公園内に位置しており、公共交通機関から施設への歩行者経路に変化は生じない。	×
史跡・文化財	基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかった。 計画地は夢の島公園内に位置しており、計画地内に史跡・文化財は存在しない。また、計画地は、昭和42年に竣工した埋立地に位置しており、埋蔵文化財包蔵地は存在しない。	×
水利用	建築物には、上水設備や排水設備は整備されないことから、選定しない。	×
温室効果ガス	建設機械の稼働に伴う温室効果ガスについては、限られた工事期間内・敷地内での稼働であり、本事業による影響は小さいと考えられることから選定しない。	×
	建築物には、電気設備や熱源設備は整備されないことから、選定しない。	×
エネルギー	建設機械の稼働に伴うエネルギーについては、限られた工事期間内・敷地内での稼働であり、本事業による影響は小さいと考えられることから選定しない。	×
	建築物には、電気設備や熱源設備は整備されないことから、検討しない。	×
土地利用	本計画は、既存の夢の島公園を利用するものであり、土地利用に変化は生じない。	×
地域分断	本計画は、既存の夢の島公園を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。	×
移転	本計画は、既存の夢の島公園を利用するものであり、移転は生じない。	×
安全	基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかったため、施設の側面から捉えた地域としての安全性に変化は生じない。	×
消防・防災	基本計画及び施行計画が変更されたものの、計画地の範囲に大きな変更はなかったため、火災、地震及び津波からの安全性に変化は生じない。	×
交通渋滞	盛土工事に係る工事用車両の台数（概ね60台/日程度）が主な計画地周辺道路の現況交通量（都道306号王子千住南砂町線（明治通り）で約27,000台/日、一般国道357号（湾岸道路）及び首都高速湾岸線で約142,000台/日）と比べて僅かであること、工事用車両の走行が考えられる都道306号王子千住南砂町線（明治通り）と接続する臨港道路新砂・夢の島線沿道には、住居等が存在しないことから、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 実施段階環境影響評価書（アーチェリー会場（夢の島公園）」（平成28年7月 東京都）において、盛土工事に係る工事用車両の走行による影響はほとんどないと考えられた。 建築工事の工事用車両（盛土工事及び建築工事の合計）についても、ピークの60台/日を上回らないため、工事用車両の影響はほとんどないとする。	×

注) 検討結果の×は、計画の具体化に伴い予測・評価の必要性を検討した結果、必要性がない事項を示す。

6. フォローアップ調査の内容

6.1 事業の基本計画

6.1.1 配置計画

予選会場の配置図は、図 5.1-1(1)に示すとおりである。予選会場は、多目的コロシアムに配置し、計画地内南側にはシェルターを設置、計画地内北側には矢止めのための築山やプレハブ倉庫を整備した。これらの建築物等の概要は、表 5.1-2、完成写真は、写真 5.1-1 (1)～(3)に示すとおりである。

なお、シェルターは、大会時には選手及びコーチの待機場所として利用されるほか、平常時には公園利用者の日よけ、イベント時には運営本部として利用される予定である。

6.1.2 発生集中交通量及び自動車動線計画

本事業では、新たな駐車場の整備は行わないため、発生集中交通量は現状と同程度と考えられる。

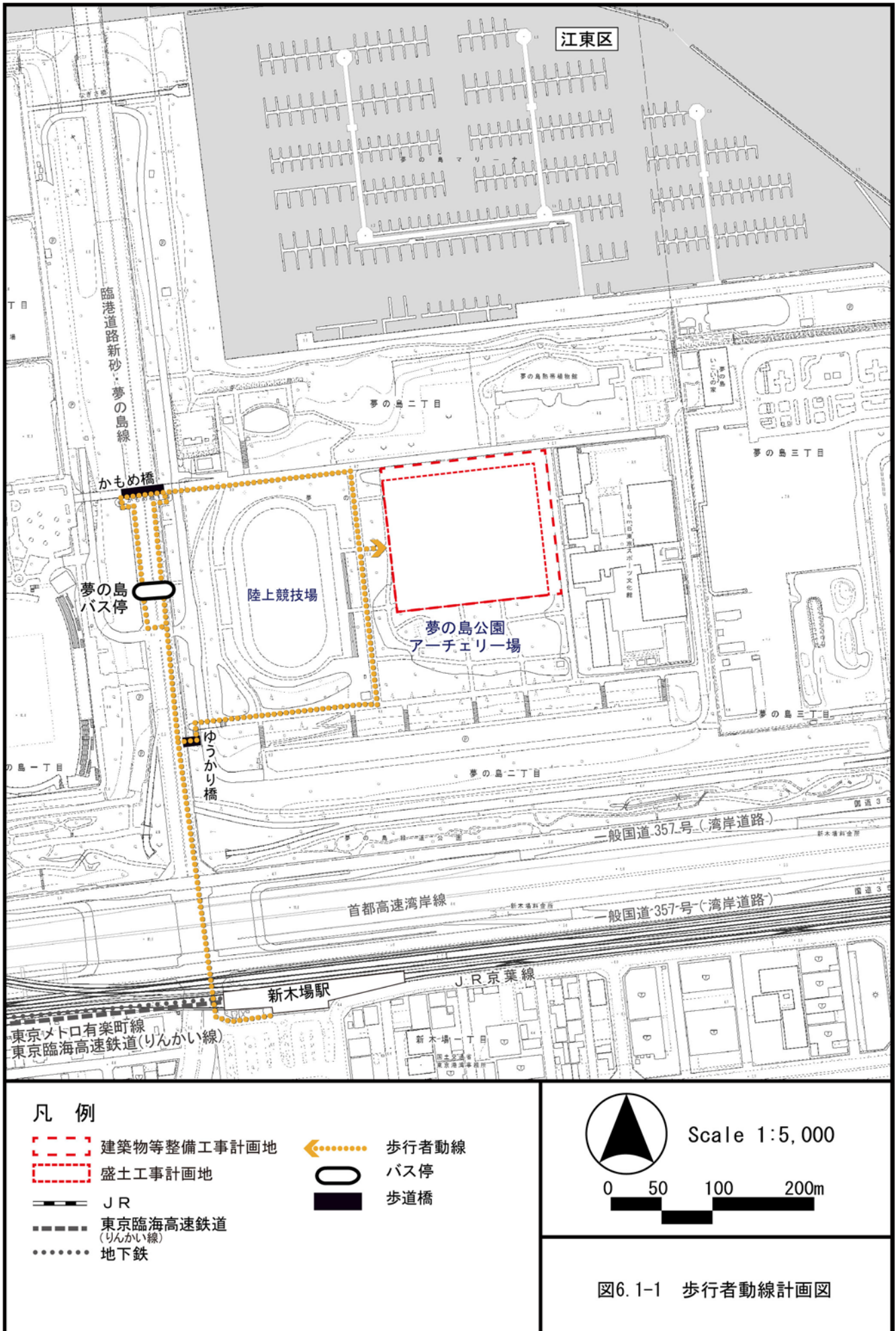
6.1.3 駐車場計画

本事業では、新たな駐車場の整備は行わず、図 5.1-1(1)に示す計画地南側の既存駐車場を利用することとした。

6.1.4 歩行者動線計画

計画地周辺の鉄道駅及びバス停から計画地への歩行者の出入動線は、図 6.1-1 に示すとおりである。

計画地周辺の鉄道駅は、新木場駅（JR 京葉線、東京臨海高速鉄道（りんかい線）、東京メトロ有楽町線）がある。新木場駅からは、臨港道路新砂・夢の島線を経て、既存のゆうかり橋により計画地へアクセスする。また、計画地最寄りのバス停は夢の島バス停であり、夢の島バス停からは既存のゆうかり橋またはかもめ橋により計画地へアクセスする。



6.1.5 設備計画

雨水は、自然浸透を基本としたほか、芝の養生、灌水用に仮設散水設備を設置した。

また、電力は、高圧2回線受電（本線・予備電源）としている。

6.1.6 廃棄物等処理計画

建設工事に伴い発生する建設発生土及び建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）、資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）等に基づき、再生利用可能な掘削土砂及び廃棄物については積極的にリサイクルに努め、リサイクルが困難なものについては適切な処理を行うこととする。

工事の完了後に発生する一般廃棄物については、東京都廃棄物条例（平成4年東京都条例第140号）、江東区清掃リサイクル条例（平成11年江東区条例第34号）等を踏まえて、関係者への啓発活動によりその排出量の抑制に努めるとともに、分別回収を行い、資源の有効利用と廃棄物の減量化を図ることとする。

6.1.7 緑化計画

緑についての考え方として、緑地空間としての機能の維持、外来種に関する対策による適切な生態系の保持、過密な植栽密度による視界閉塞を緩和することによる公園利用時の安全性の向上など、園内環境の向上に貢献するよう計画した。

このことから、計画地内に存在する樹木については、樹木診断等を行い、生育不良木や枯死木など健全度が低いものや、植生に影響を及ぼすおそれのある外来種を中心に伐採することとし、ケヤキ、サクラ類、トチノキ等の健全度が良好で樹形の良いものを中心に、樹木の生育環境として適切な密度で移植を行うこととした。この結果、計画地内における樹木について、ケヤキ13本、サクラ類8本、トチノキ2本を含む高木38本を移植し、410本を伐採した。なお、移植・伐採後は11,536㎡の張芝を行うことで、まとまった芝生広場を引き続き確保し、緑地空間としての機能は変わらない計画としている。

また、移植先については、園内計画地南側に高密度に生育するトウネズミモチ¹等の外来種を伐採し、スペースを確保する予定である。

¹ トウネズミモチは、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月 環境省・農林水産省）において、総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）のうち、重点対策外来種に掲載されている。

6.2 施工計画

6.2.1 工事工程

本事業に係る盛土工事から予選会場整備工事までの工事期間は、平成 28 年 8 月から平成 31 年 3 月にかけて、31 か月間の工期であった。

工事工程は、表 6.2-1 に示すとおりである。

表 6.2-1 全体工事工程

工種/工事月	6	12	18	24	30	31
盛土工事						
盛土工事（養生）						
地盤修正工事						
樹木整理（移植・伐採）						
予選会場整備工事						
建築物等整備工事						

注）仮施設設置工事については、「事業計画概要報告書」（平成 31 年 3 月 東京都）で別途報告している。

6.2.2 施工方法の概要

(1) 盛土工事

多目的コロシムに16,390m³の盛土を行った。盛土に伴い、地盤沈下及び側方変位が生じる可能性があったため、養生期間を設けるとともに、変位測定を行った。なお、地盤沈下の程度は小さいものであった。

(2) 地盤修正工事

地盤沈下及び側方変位による不足土分について、周辺地盤面と同レベルとなるよう盛土を行った。

(3) 樹木整理（移植・伐採）

計画地内の樹木に関しては、樹木診断等により移植すると判断したケヤキ13本、サクラ類8本、トチノキ2本を含む高木38本を移植し、410本を伐採した。移植先については、園内計画地南側に高密度に生育するトウネズミモチ等の外来種を伐採し、スペースの確保を図った。

(4) 予選会場整備工事

予選会場のフィールド部について、11,536m²の張芝を行った。

(5) 建築物等整備工事

1) シェルター

計画地南側にシェルターの整備工事を行った。シェルターの整備には国産木材を利用した。

2) 倉庫

計画地北側に倉庫として利用するプレハブの設置や設備工事を行った。

3) 築山（矢止め）

盛土工事と合わせて、計画地北側に、築山（矢止め）整備を行った。築山（矢止）整備に当たっては、11,082m³の土を利用した。芝生広場側はなだらかな築山とし、北側通路側は柵と緑

化ブロックを設置した。

6.2.3 工事用車両

工事用車両の主な走行ルートは、図 6.2-1 に示すとおりである。

工事用車両の走行に伴う沿道環境への影響を極力小さくするため、工事用車両は、主に一般国道 357 号（湾岸道路）を利用し、臨港道路新砂・夢の島線を通り、計画地へ出入場した。

工事用車両台数のピークは、工事着工後 2～7 か月目及び 17～19 か月目であり、工事用車両台数は、ピーク日において大型車 60 台/日程度であった。

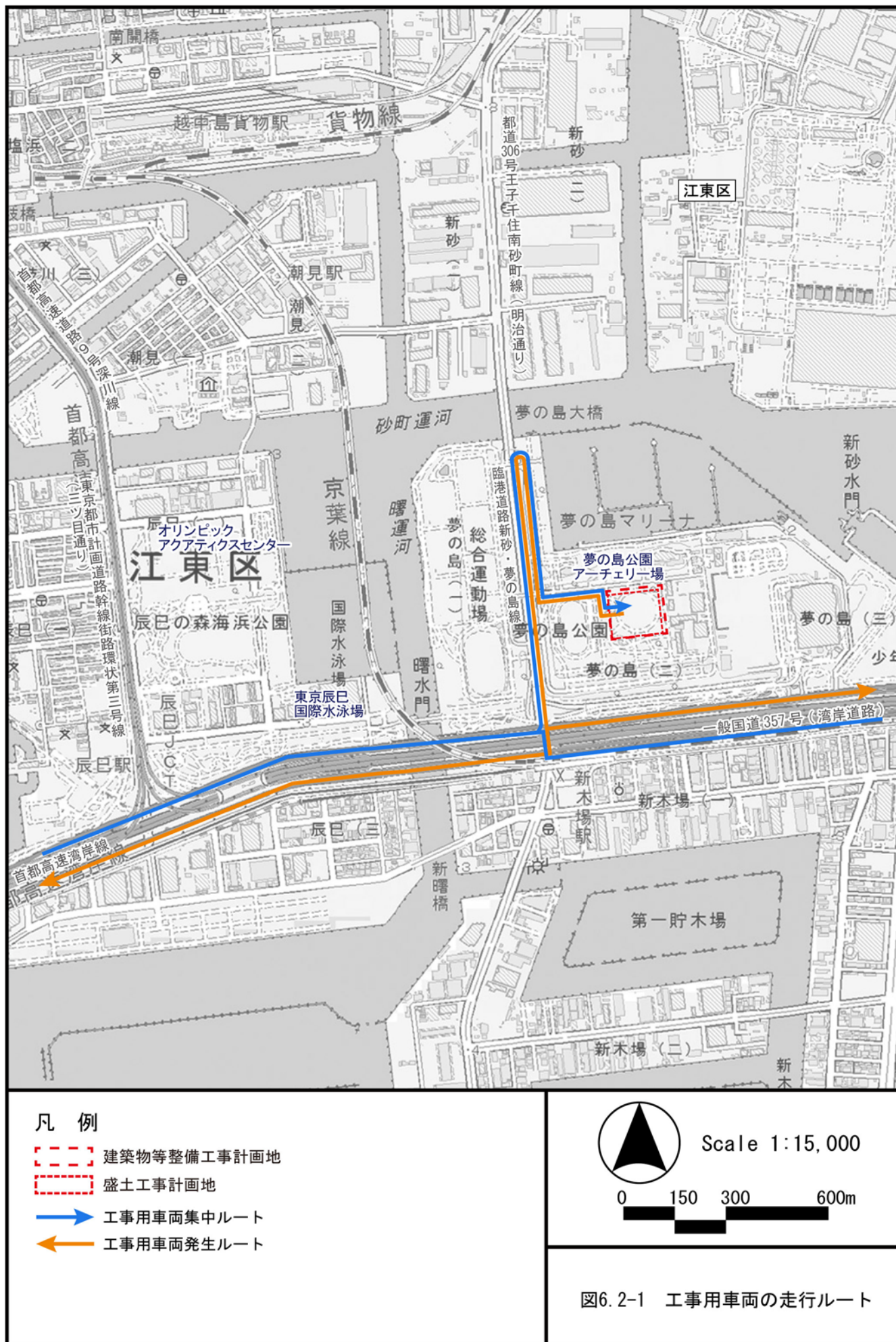
6.2.4 建設機械

各工種において使用する主な建設機械は、表 6.2-2 に示すとおりである。

工事に使用する建設機械は、周辺環境への影響に配慮して、排出ガス対策型建設機械及び低騒音型の建設機械を積極的に採用するとともに、効率的な施工計画を立案し、不要なアイドリングの防止に努める等、排出ガスの削減及び騒音の低減に努めた。

表 6.2-2 主な建設機械

工 種	主な建設機械
盛土工事	バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー
盛土工事（養生）	－
地盤修正工事	バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー
樹木整理（移植・伐採）	バックホウ、高所作業車、チェーンソー
解体工事	ラフタークレーン、バックホウ
予選会場整備工事	バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー
建築物等整備工事	ラフタークレーン、バックホウ、ブルドーザー



6.3 供用の計画

本事業で整備する予選会場の供用は、テストイベント実施予定の令和元年7月である。

6.4 環境保全に関する計画等への配慮の内容

本事業にかかわる主な環境保全に関する上位計画としては、「東京都環境基本計画」、「江東区環境基本計画」等がある。環境保全に関する計画等への配慮事項は、表 6.4-1(1)～(3)に示すとおりである。

表 6.4-1(1) 環境保全に関する計画等への配慮の内容

計画等の名称	計画等の概要	本事業で配慮した事項
東京都環境基本計画 (平成28年3月)	・「世界一の環境先進都市・東京」の実現 ◆3R・適正処理の促進と「持続可能な資源利用」の推進 ◆快適な大気環境、良質な土壌と水循環の確保	・計画地内の既存樹木のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、移植を行った。 ・伐採樹木については、一部、園内利用を図るとともに、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を図った。 ・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図った。 ・「平成28年度東京都環境物品等調達方針」（平成28年4月 東京都）を踏まえ、環境物品等を活用した。
	◆自然豊かで多様な生きものと共生できる都市環境の継承	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植した。 ・フィールドには11,536m²の張芝を行った。

表 6.4-1(2) 環境保全に関する計画等への配慮の内容

計画等の名称	計画等の概要	本事業で配慮した事項
東京都自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画 (平成25年7月)	・車種規制の実施及び流入車の排出基準適合車への転換の促進、低公害・低燃費車の普及促進、エコドライブの普及促進、交通量対策、交通流対策、局地汚染対策の推進等	・工事用車両の走行ルートは、計画地までの交通安全への配慮のため主に一般国道357号（湾岸道路）を利用した。 ・工事用車両の出入口には交通整理員を配置し、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮した。 ・一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行った。 ・夢の島公園内の園路等を占用する工事を行ったので、代替路を設定するとともに、交通整理員を配置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設利用者、公園内散策コース利用者の安全を確保した。 ・工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底した。 ・夢の島公園内は低速度で走行し、公園利用者の通行を優先するよう指導を徹底した。
緑の東京計画 (平成12年12月)	・あらゆる工夫による緑の創出と保全	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植した。 ・フィールドには11,536m²の張芝を行った。
「緑の東京10年プロジェクト」基本方針 (平成19年6月)	・街路樹の倍増などによる緑のネットワークの充実	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植した。 ・フィールドには11,536m²の張芝を行った。
みどりの新戦略ガイドライン (平成18年1月)	・公共施設におけるみどりの創出	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植した。 ・フィールドには11,536m²の張芝を行った。

表 6.4-1(3) 環境保全に関する計画等への配慮の内容

計画等の名称	計画等の概要	本事業で配慮した事項
東京都建設リサイクル推進計画 (平成28年4月)	・建設泥土を活用する ・建設発生土を活用する ・廃棄物を建設資材に活用する	・計画地内の既存樹木のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、移植した。 ・伐採樹木については、一部、園内利用を図るとともに、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を図った。 ・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図った。 ・「平成28年度東京都環境物品等調達方針」(平成28年4月 東京都)を踏まえ、環境物品等を活用した。
江東区環境基本計画 (平成27年3月)	本計画では、施策の体系として、以下の6つの柱を示している。 ・地球温暖化・エネルギー対策の推進～KOTO低炭素プラン～ ・循環型社会の形成 ・自然との共生 ・環境に配慮した快適なまちづくりの推進 ・安全・安心な生活環境の確保 ・環境教育及びパートナーシップの推進	・計画地内の既存樹木のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、移植した。 ・伐採樹木については、一部、園内利用を図るとともに、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を図った。 ・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図った。 ・「平成28年度東京都環境物品等調達方針」(平成28年4月 東京都)を踏まえ、環境物品等を活用した。
江東区みどりと自然の基本計画 (平成19年7月)	本計画の基本方針として、以下を設定している。 ・河川や運河等の水辺からまちへと広がるみどりの帯をつくる ・海辺のうるおいとまちのにぎわいが融合する 江東区らしい臨海部の魅力を発信 ・みんなに利用される公園へ、くつろぎと交流の空間としての質を高める ・身近にふれあう美しいみどりを、区民と行政がいっしょになって世話をし、はぐくむ ・自然からの恩恵を実感することを通じて、みんなで自然を大切にはぐくむ意識を養う	・計画地内に生育する落葉広葉樹(ケヤキ、サクラ類、トチノキ等)のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木38本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹(トウネズミモチ)の生育箇所に移植した。 ・フィールドには11,536m²の張芝を行った。

6.5 調査結果の概略

本フォローアップ調査は、大会開催前の時点における生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑、自然との触れ合い活動の場の調査結果である。調査結果の概略は、表 6.5-1 に示すとおりである。

「5. 計画の更新」(p.8 参照)で示したとおり、予選会場の建築物等については、それらの規模や配置から検討を行った結果、周辺環境に著しい影響を及ぼすおそれはないことから、予測・評価の見直しは行わなかった。なお、本フォローアップ報告書では、予選会場の建築物等の整備についても調査対象としている。

表 6.5-1(1) 調査結果の概略

項 目	調査結果の概略
1. 生物の生育・生息基盤	ア. 生物・生態系の賦存地の改変の程度 事業の実施に伴い、計画地内における生物の生育・生息基盤である植栽樹林群は伐採により減少したが、一方で、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植したことにより、外来種の常緑広葉樹群を在来種の落葉広葉樹林群に変更した。さらに、フィールドに 11,536m²の張芝を行うことにより、連続した生物・生態系の賦存地の維持に努めた。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。 イ. 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度 事業の実施に伴い、計画地内の落葉針葉樹、常緑広葉樹の植栽樹林群が伐採されるが、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植し、既存と同様の生物の生育・生息基盤が創出された。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。
2. 生物・生態系	ア. 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落の植物の生育地が改変されたが、植生に大きな変化はなかった。一方で、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、計画地を含めた、夢の島公園の生物の生育・生息基盤に大きな変化は生じないことと同時に、外来種対策に寄与した。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。 イ. 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じたが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の多くは維持された。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。 ウ. 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じ、移動性の低い動物相及び動物群集(昆虫類の幼虫、土壌動物等)の生息環境が変化した。夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の生育・生息基盤の変化を緩和している。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植したことから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持された。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

表 6.5-1(2) 調査結果の概略

項 目	調査結果の概略
2. 生物・生態系 (つづき)	エ. 生態系の変化の内容及びその程度 事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群が伐採及び移植されたことから、生態系を構成する陸上植物、陸上動物が相互に係る生育・生息環境が変化した。夢の島公園全体の植生に大きな変化はなかった。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、周辺地域も含めた生態系は維持された。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。
3. 緑	ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採したが、一方で、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。 イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度 事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採したが、新たに 11,536m²の張芝を行ったほか、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。
4. 自然との触れ合い活動の場	ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 計画地は、夢の島公園内の多目的コロシアムであり、広場遊戯や散策、休憩等の自然との触れ合い活動の場であった。また、計画地は遊歩道「臨海散策コース」の経路の一部に位置づけられていた。 事業の実施に伴い、計画地の周囲に仮囲いが設置され、計画地内が改変されることにより、一時的に計画地における自然との触れ合い活動の場は消失した。しかし、フィールドに 11,536m²の張芝を行うことにより、新たな自然との触れ合い活動の場が創出された。 計画地以外の夢の島公園内においては、散策、休息、広場遊戯等の利用が見られており、これらの機能は工事の施行中においても維持されていた。 なお、遊歩道「臨海散策コース」については、工事の施行前において、江東区観光協会におけるまちあるきガイドサービスは終了したものの、自然との触れ合い活動の機能は維持されている。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。 イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。 事業の実施による建設機械の稼働に伴う大気汚染、騒音・振動、工事用車両の走行に伴う影響については、排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械の採用、不要なアイドリングの防止等により、低減に努めた。また、事業の実施に当たっては、計画地周辺に仮囲いを配置したほか、施工計画、仮囲いの外側で建設機械を稼働させた際には、作業エリア周囲に保安用品を配置する等影響の低減に努めた。 事業の実施に当たって、上記のミティゲーションを実施したことにより、自然との触れ合い活動への阻害の程度は小さかった。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。 ウ. 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度 計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。 近接する駅等から夢の島公園への利用経路は、歩道や歩道橋によって歩車分離が確保されていた。また、夢の島公園内の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。 そのほか、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保することにより、一般来訪者が円滑に移動できるよう配慮した。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。

表 6.5-1(3) 調査結果の概略

項 目	調査結果の概略
5. 廃棄物	ア. 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等 建設発生土については全量現場内での利用を行い、廃棄物としての発生はなかった。 コンクリートガラ 453.89t、コンクリート・アスファルトガラ 16.02 t、その他がれき類 98.7t については場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。 木くず（伐採樹木）については、一部を園内のベンチ等として利用したほか、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとして利用した。 廃プラスチック類 0.35t、混合廃棄物 43.87 t については、場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。 木くず（伐採樹木）については、再資源化率が予測結果を下回ったものの、その他の廃棄物の再資源化率は 100%であった。 なお、廃棄物の発生量及び再資源化量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。
6. エコマテリアル	ア. エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度 建設工事に当たっては、「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」（平成 28 年 4 月 東京都）に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。 なお、エコマテリアル利用量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。
7. 公共交通へのアクセシビリティ	ア. 工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度 近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、事業の実施に伴い、夢の島公園内の園路の一部に通行規制が生じたが、代替路を設定するとともに、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。 また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置することで円滑な移動を促し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。これらのミティゲーションの実施により、公共交通からのアクセス性を確保した。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。
8. 交通安全	ア. アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度 近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。 また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。園内を走行する車両に対しては速度規制や安全走行について安全教育等で指導したほか、看板での周知を図った。 以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.6 フォローアップの実施者

〔実施者〕

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

6.7 その他

6.7.1 東京 2020 大会に係る実施段階環境アセスメント及びフォローアップの全対象事業についての
実施段階環境アセスメント及びフォローアップの実施予定又は経過

夢の島公園アーチェリー場の実施段階環境アセスメント及びフォローアップの経過は、表 6.7-1 に示すとおりである。また、フォローアップの進捗状況及び実施予定は、表 6.7-2 に示すとおりである。

表 6.7-1 夢の島公園アーチェリー場の実施段階環境アセスメントの経過

実施段階環境アセスメントの経過	
環境影響評価調査計画書が公表された日	平成 26 年 3 月 28 日
意見を募集した日	平成 26 年 3 月 28 日～平成 26 年 4 月 16 日
都民の意見	82 件 ^{注)}
調査計画書審査意見書が送付された日	平成 26 年 5 月 29 日
環境影響評価書案が公表された日	平成 28 年 1 月 18 日
意見を募集した日	平成 28 年 1 月 18 日～平成 28 年 3 月 2 日
都民等の意見	2 件
評価書案審査意見書が送付された日	平成 28 年 3 月 28 日
環境影響評価書が公表された日	平成 28 年 7 月 28 日
フォローアップ計画書が公表された日	平成 28 年 7 月 29 日

6.7.2 調査等を実施した者の氏名及び住所並びに調査等の全部又は一部を委託した場合にあっては、
その委託を受けた者の氏名及び住所

〔作成者〕

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

〔受託者〕

名 称：日本工営株式会社

代表者：代表取締役社長 有元 龍一

所在地：東京都千代田区九段北一丁目 14 番 6 号

表 6.7-2 フォローアップの進捗状況

			年・月		2016年度(平成28年度)								2017年度(平成29年度)								2018年度(平成30年度)								2019年度(平成31年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工事及び調査内容			工事着工からの月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工事工程	盛土工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	盛土工事（養生）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	地盤修正工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	樹木整理（移植・伐採）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	予選会場整備工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	建築物等整備工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
フォローアップ調査工程	生物の生育・生息基盤	大会の開催前	生物・生態系の賦存地の改変の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

6.8 調査の結果

6.8.1 生物の生育・生息基盤

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.1-1 に示すとおりである。

表 6.8.1-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度
予測条件の状況	・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、適切な時期に外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。 ・予選会場を多目的コロシウムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。 ・フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.1-2 に示すとおりである。

表 6.8.1-2 調査手法

調査事項		生物・生態系の賦存地の改変の程度 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度
調査時点		工事の終了後とした。
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	工事終了後の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 生物・生態系の賦存地の改変の程度

計画地は、夢の島公園内の多目的コロシム周辺であり、自然地形等は存在していなかったが、常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹林群が存在していた。樹木等が植栽されている土壌表面には、落葉等により腐食層が成立していた。

事業の実施に伴い、計画地内における生物の生育・生息基盤である植栽樹林群は伐採により減少したが、一方で、計画地周辺の主な生物・生態系の賦存地であった園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植したことにより、外来種の常緑広葉樹群を在来種の落葉広葉樹林群に変更した。さらに、フィールドに 11,536m² の張芝を行うことにより、連続した生物・生態系の賦存地の維持に努めた。

イ) 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

事業の実施に伴い、計画地内の落葉針葉樹、常緑広葉樹の植栽樹林群が伐採されるが、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植し、工事前の状況と同様の生物の生育・生息基盤が創出された。

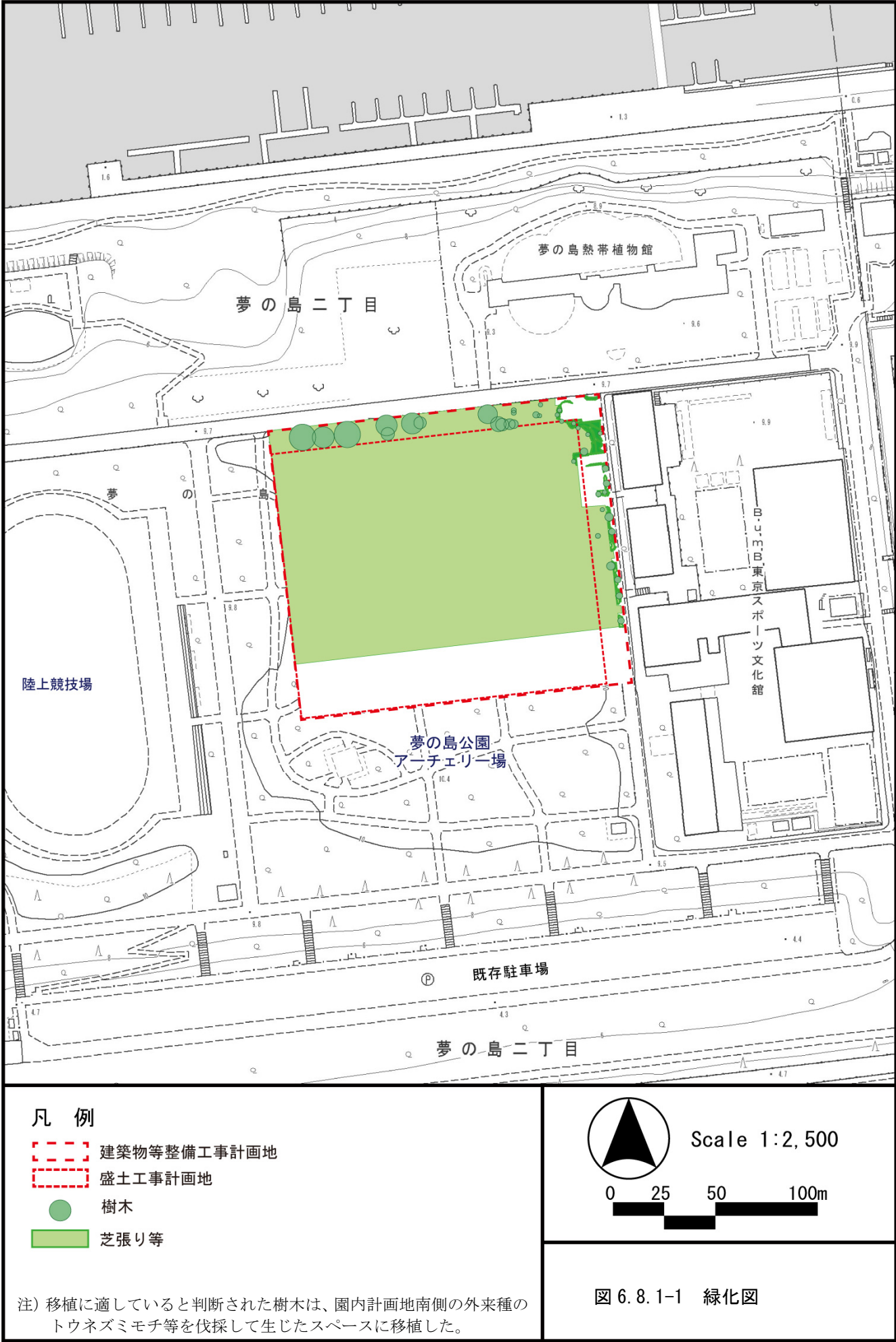
イ. 予測条件の状況

ア) 既存緑地の改変の程度

「1) 予測した事項」に示すとおり、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群が改変されていないことを確認した。また、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した高木 38 本について、順調に生育していることを確認した。

イ) 緑化計画

緑化完了図については、図 6.8.1-1 に示すとおりである。



ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.1-3 に示すとおりである。生物の生育・生息基盤に関する苦情はなかった。

表 6.8.1-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、適切な時期に外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。	樹木診断により、移植に適していると判断された高木 38 本を移植した。（写真 6.8.1-1～写真 6.8.1-3）
予選会場を多目的コロシウムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。	計画どおり、予選会場を既存樹木の少ない多目的コロシウム内に配置した。
フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。	フィールドに 11,536m²の張芝を行った。（写真 6.8.1-4）
植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。	植栽した樹木に定期的な灌水、除草、剪定、花がら摘み等の管理を行っている。植栽した樹木の枯死等の生育状況の不良は確認されていない。



写真 6.8.1-1 移植後のケヤキ



写真 6.8.1-2 移植後のサクラ類



写真 6.8.1-3 移植後のトチノキ



写真 6.8.1-4 フィールドの張芝

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 生物・生態系の賦存地の改変の程度

事業の実施に伴い、計画地内における生物の生育・生息基盤である植栽樹林群は伐採により減少したが、一方で、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植したことにより、外来種の常緑広葉樹群を在来種の落葉広葉樹林群に変更した。さらに、フィールドに 11,536m²の張芝を行うことにより、連続した生物・生態系の賦存地の維持に努めた。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

イ) 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

事業の実施に伴い、計画地内の落葉針葉樹、常緑広葉樹の植栽樹林群が伐採されるが、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植し、既存と同様の生物の生育・生息基盤が創出された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.8.2 生物・生態系

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.2-1 に示すとおりである。

表 6.8.2-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 ・陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 ・生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・生態系の変化の内容及びその程度
予測条件の状況	・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。 ・フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。 ・予選会場を多目的コロシウムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。 ・一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.2-2 に示すとおりである。

表 6.8.2-2 調査手法

調査事項		陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 生態系の変化の内容及びその程度
調査時点		工事の施行中及び終了後とした。
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落の植物の生育地が改変されたが、植生に大きな変化はなかった。一方で、新たに 11,536m² の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、計画地を含めた、夢の島公園の生物の生育・生息基盤に大きな変化は生じないことと同時に、外来種対策に寄与した。

イ) 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じたが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の多くは維持された。

ウ) 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じ、移動性の低い動物相及び動物群集(昆虫類の幼虫、土壤動物等)の生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の生育・生息基盤の変化を緩和している。また、本事業の実施により、新たに 11,536m² の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植したことから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持された。

エ) 生態系の変化の内容及びその程度

計画地の周辺には、落葉広葉樹、常緑広葉樹の植栽が広がるほか、園内計画地西側の陸上競技場にまとまったシバ群落がある。事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群が伐採及び移植されたことから、生態系を構成する陸上植物、陸上動物が相互に係る生育・生息環境が変化したが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなかった。また、本事業の実施により、新たに 11,536m² の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、周辺地域も含めた生態系は維持された。

イ. 予測条件の状況

ア) 既存緑地の改変の程度

「(1)予測した事項」に示すとおり、新たに 11,536m²の張芝が行われていることを確認したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した高木 38 本について、順調に生育していることを確認した。

イ) 緑化計画

緑化完了図については、「8.1 生物の生育・生息基盤 (1)調査結果の内容 2)予測条件の状況」(p.32 参照)に示すとおりである。

ウ) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.2-3 に示すとおりである。生物・生態系に関する苦情はなかった。

表 6.8.2-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。	樹木診断により、移植に適していると判断された高木 38 本を移植した。（写真 6.8.2-1～写真 6.8.2-3）
・フィールドには約20,000m ² の張芝を行う計画としている。	フィールドに 11,536m ² の張芝を行った。（写真 6.8.2-4）
・予選会場を多目的コロシウムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。	計画どおり、予選会場を既存樹木の少ない多目的コロシウム内に配置した。
・一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。	一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植した。（写真 6.8.2-5～写真 6.8.2-6）
・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。	植栽した樹木に定期的な灌水、除草、剪定、花がら摘み等の管理を行っている。植栽した樹木の枯死等の生育状況の不良は確認されていない。



写真 6.8.2-1 移植後のケヤキ



写真 6.8.2-2 移植後のサクラ類



写真 6.8.2-3 移植後のトチノキ



写真 6.8.2-4 フィールドの張芝



写真 6.8.2-5 既存樹木の根回し



写真 6.8.2-6 既存樹木の根回し

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落の植物の生育地が改変されたが、植生に大きな変化はなかった。一方で、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、計画地を含めた、夢の島公園の生物の生育・生息基盤に大きな変化は生じないことと同時に、外来種対策に寄与した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

イ) 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じたが、夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の多くは維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

ウ) 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群やシバ群落に一時的に改変が生じ、移動性の低い動物相及び動物群集(昆虫類の幼虫、土壤動物等)の生息環境が変化した。夢の島公園全体の植生に大きな変化はなく、公園内の動物種及び動物群集の生育・生息基盤の変化を緩和している。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植したことから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

エ) 生態系の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹群が伐採及び移植されたことから、生態系を構成する陸上植物、陸上動物が相互に係る生育・生息環境が変化した。夢の島公園全体の植生に大きな変化はなかった。また、本事業の実施により、新たに 11,536m²の張芝を行い、工事前と同様の環境を創出したほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに、計画地内の落葉広葉樹の高木 38 本を移植した。これらのことから、周辺地域も含めた生態系は維持された。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.8.3 緑

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.3-1 に示すとおりである。

表 6.8.3-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 ・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度
予測条件の状況	・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。 ・フィールドには約20,000m²の張芝を行う計画としている。 ・予選会場を多目的コロシアムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。 ・一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.3-2 に示すとおりである。

表 6.8.3-2 調査手法

調査事項		植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度
調査時点		工事の施行中及び終了後とした。
調査期間	予測した事項	工事の終了後の春季～夏季とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

計画地内は夢の島公園内の多目的コロシム周辺であり、常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹林群が存在している。

事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採したが、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した。

イ) 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

計画地内は夢の島公園内の多目的コロシム周辺であり、常緑広葉樹（マテバシイ）、落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）の植栽が存在し、事業の実施前における樹木の面積は約 8,000m²であった。事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採した。競技との兼ね合いから計画地内に樹木による緑化は行わないが、フィールドには 11,536m²の張芝を行った。

イ. 予測条件の状況

ア) 既存緑地の改変の程度

「(1) 予測した事項」に示すとおり、新たに 11,536m²の張芝が行われていることを確認し

たほか、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した高木 38 本について、順調に生育していることを確認した。

イ) 緑化計画

緑化完了図については、「8.1 生物の生育・生息基盤 (1) 調査結果の内容 2) 予測条件の状況」(p. 32 参照) に示すとおりである。

ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.3-3 に示すとおりである。緑に関する苦情はなかった。

表 6.8.3-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・計画地内に生育する落葉広葉樹（ケヤキ、サクラ類、トチノキ等）のうち、樹木診断等により移植すると判断した高木約40本を選定し、適切な時期に園内計画地南側の外来種の常緑広葉樹（トウネズミモチ）の生育箇所に移植する計画としている。	樹木診断により、移植に適していると判断された高木 38 本を移植した。（写真 6.8.3-1～写真 6.8.3-3）
・フィールドには約20,000m ² の張芝を行う計画としている。	フィールドに 11,536m ² の張芝を行った。（写真 6.8.3-4）
・予選会場を多目的コロシムに配置し、公園内の既存樹木への影響を低減する計画としている。	計画どおり、予選会場を既存樹木の少ない多目的コロシム内に配置した。
・一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植する。	一部の既存樹木は、事前に根回しを行ったうえで移植した。（写真 6.8.3-5～写真 6.8.3-6）
・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理するとともに、生育状況については、フォローアップ調査で確認する。	植栽した樹木に定期的な灌水、除草、剪定、花がら摘み等の管理を行っている。植栽した樹木の枯死等の生育状況の不良は確認されていない。



写真 6.8.3-1 移植後のケヤキ



写真 6.8.3-2 移植後のサクラ類



写真 6.8.3-3 移植後のトチノキ



写真 6.8.3-4 フィールドの張芝



写真 6.8.3-5 既存樹木の根回し



写真 6.8.3-6 既存樹木の根回し

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採したが、一方で、園内計画地東側の常緑広葉樹（クスノキ）、園内計画地西側の常緑広葉樹（マテバシイ）の高木の樹林群は事業の実施による改変は受けていない。また、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

イ) 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

事業の実施に伴い、高木 410 本を伐採したが、新たに 11,536m²の張芝を行ったほか、計画地内に生育していた落葉広葉樹のうち、樹木診断で移植に適していると判断された高木 38 本を、園内計画地南側の外来種のトウネズミモチ等を伐採して生じたスペースに移植した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.8.4 自然との触れ合い活動の場

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.4-1 に示すとおりである。

表 6.8.4-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 ・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 ・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
予測条件の状況	・建設機械の稼働の状況 ・工事用車両の走行の状況
ミティゲーションの実施状況	・フィールドには約 20,000m²の張芝を行う計画としている。 ・排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械の採用により、大気汚染、騒音の低減に努める。 ・低公害型の工事用車両を極力採用し、不要なアイドリングの防止を徹底する計画である。 ・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染、騒音・振動の低減に努める。 ・一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。 ・夢の島公園内の園路等を占用する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保する。 ・資材の搬出入に際しては、走行ルートの検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画である。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.4-2 に示すとおりである。

表 6.8.4-2 調査手法

調査事項		自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
調査時点		工事の施工中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は、夢の島公園内の多目的コロシウムであり、広場遊戯や散策、休憩等の自然との触れ合い活動の場であった。また、計画地は遊歩道「臨海散策コース」の経路の一部に位置づけられていた。

事業の実施に伴い、計画地の周囲に仮囲いが設置され、計画地内が改変されることにより、一時的に計画地における自然との触れ合い活動の場は消失した。しかし、フィールドに 11,536m²の張芝を行うことにより、新たな自然との触れ合い活動の場が創出された。

計画地以外の夢の島公園内においては、散策、休息、広場遊戯等の利用が見られており、これらの機能は工事の施行中においても維持されていた。

なお、遊歩道「臨海散策コース」については、工事の施行前において、江東区観光協会におけるまちあるきガイドサービスは終了したものの、自然との触れ合い活動の機能は維持されている。

イ) 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。

事業の実施による建設機械の稼働に伴う大気汚染、騒音・振動、工事用車両の走行に伴う影響については、排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械の採用、不要なアイドリングの防止等により、低減に努めた。また、事業の実施に当たっては、計画地周辺に仮囲いを配置したほか、施工計画上、仮囲いの外側で建設機械を稼働させた際には、作業エリア周囲に保安用品を配置する等影響の低減に努めた。

事業の実施に当たって、上記のミティゲーションを実施したことにより、自然との触れ合い活動への阻害の程度は小さかった。

ウ) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。

近接する駅等から夢の島公園への利用経路は、歩道や歩道橋によって歩車分離が確保されていた。また、夢の島公園内の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員の配置が行われたほか、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。

イ. 予測条件の状況

ア) 建設機械の稼働状況

建設機械は主に計画地の仮囲いの中で稼働していたが、一部の建設機械は、仮囲いの外で稼働していた。

イ) 工事用車両の走行の状況

工事用車両の走行ルートは、図 4.2-4 に示すとおりである。

ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.4-3 に示すとおりである。自然との触れ合い活動の場に関する苦情はなかった。

表 6.8.4-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・フィールドには約20,000m ² の張芝を行う計画としている。	フィールドに 11,536m ² の張芝を行った。(写真 6.8.4-1)
・排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械の採用により、大気汚染、騒音の低減に努める。	工事に際しては、計画地周辺に仮囲いを配置した。(写真 6.8.4-2) 建設機械は、極力排出ガス対策型建設機械、低騒音型建設機械、超低騒音型建設機械の採用に努めた。(写真 6.8.4-3～写真 6.8.4-4)
・低公害型の工事用車両を極力採用し、不要なアイドリングの防止を徹底する計画である。	安全教育等を通じてアイドリングストップの厳守等、運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、周知・徹底を図った。(写真 6.8.4-5)
・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染、騒音・振動の低減に努める。	工事用車両が出入するゲートには、交通整理員を配置した。(写真 6.8.4-6)
・一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。	一般来園者が通行する園路を工事で使用したので、保安用品を用いて歩車道分離を行うほか、交通整理員を配置した。(写真 6.8.4-7)
・夢の島公園内の園路等を占有する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保する。	夢の島公園内の園路等を占有する工事を行ったので、代替路を設定するとともに、交通整理員を配置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。(写真 6.8.4-8～写真 6.8.4-9) 施工計画上、仮囲いの外側で建設機械を稼働させた際には、作業エリア周囲に保安用品を配置する等影響の低減に努めた。(写真 6.8.4-10～写真 6.8.4-11)
・資材の搬出入に際しては、走行ルートの検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画である。	安全教育等を通じて、運転者には、走行ルートの限定及び安全走行に関して事前指導した。また、事前に搬入出車両台数及び時間帯を確認・調整することにより車両の集中を避け、平準化を図るとともに、騒音及び振動の低減に努めた。



写真 6.8.4-1 フィールドの張芝



写真 6.8.4-2 計画地周辺に仮囲いを設置



写真 6.8.4-3 排出ガス対策型、超低騒音型建設機械



写真 6.8.4-4 排出ガス対策型、超低騒音型建設機械



写真 6.8.4-5 安全教育



写真 6.8.4-6 交通整理員の配置



写真 6.8.4-7 交通整理員の配置



写真 6.8.4-8 園内安全対策



写真 6.8.4-9 代替路に関する看板



写真 6.8.4-10 建設機械稼働時の安全対策



写真 6.8.4-11 建設機械稼働時の安全対策

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は、夢の島公園内の多目的コロシウムであり、広場遊戯や散策、休憩等の自然との触れ合い活動の場であった。また、計画地は遊歩道「臨海散策コース」の経路の一部に位置づけられていた。

事業の実施に伴い、計画地の周囲に仮囲いが設置され、計画地内が改変されることにより、一時的に計画地における自然との触れ合い活動の場は消失した。しかし、フィールドに11,536m²の張芝を行うことにより、新たな自然との触れ合い活動の場が創出された。

計画地以外の夢の島公園内においては、散策、休息、広場遊戯等の利用が見られており、これらの機能は工事の施行中においても維持されていた。

なお、遊歩道「臨海散策コース」については、工事の施行前において、江東区観光協会におけるまちあるきガイドサービスは終了したものの、自然との触れ合い活動の機能は維持されている。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

イ) 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。

事業の実施による建設機械の稼働に伴う大気汚染、騒音・振動、工事用車両の走行に伴う影響については、排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械の採用、不要なアイドリングの防止等により、低減に努めた。また、事業の実施に当たっては、計画地周辺に仮囲いを配置したほか、施工計画上、仮囲いの外側で建設機械を稼働させた際には、作業エリア周囲に保安用品を配置する等影響の低減に努めた。

事業の実施に当たって、上記のミティゲーションを実施したことにより、自然との触れ合い活動への阻害の程度は小さかった。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

ロ) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

計画地周辺の夢の島公園内では、散策、休息、家族連れでボール遊び等の広場遊戯が見られたほか、夢の島公園内の園路は、夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館を訪れる利用者の利用経路となっていた。

近接する駅等から夢の島公園への利用経路は、歩道や歩道橋によって歩車分離が確保されていた。また、夢の島公園内の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。

そのほか、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保することにより、一般来訪者が円滑に移動できるよう配慮した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.8.5 廃棄物

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.5-1 に示すとおりである。

表 6.8.5-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
予測条件の状況	・ 樹木整理（移植、伐採）の実施状況
ミティゲーションの実施状況	・ 計画地内の既存樹木のうち、健全度が良好で樹形の良い高木約40本を選定し、移植を行う計画としている。 ・ 伐採樹木については、一部、園内利用を図るとともに、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を検討する。 ・ 工事事務所等で発生する軍手類、乾電池及び蛍光灯等についても、徹底した分別を行い再資源化に努める。 ・ 資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。 ・ 産業廃棄物が発生した場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び東京都廃棄物条例に基づき、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.5-2 に示すとおりである。

表 6.8.5-2 調査手法

調査事項		廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等

工事の実施に伴い発生した廃棄物は、表 8.5-3 及び表 8.5-4 に示すとおりである。

建設発生土については全量現場内での利用を行い、廃棄物としての発生はなかった。

コンクリートガラ 453.89t、コンクリート・アスファルトガラ 16.02 t、その他がれき類 98.7t については場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。

木くず（伐採樹木）については、一部を園内のベンチ等として利用したほか、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとして利用した。

廃プラスチック類 0.35t、混合廃棄物 43.87 tについては、場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。

なお、廃棄物の発生量及び再資源化量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。

表 6.8.5-3 建設廃棄物の種類ごとの発生量及び再資源化等の量

廃棄物の種類	廃棄物発生量		再資源化等	
			量	率
コンクリートガラ	453.89 t	(再資源化率)	453.89 t	100%
コンクリート・ア スファルトガラ	16.02 t	(再資源化率)	16.02 t	100%
その他がれき類	98.7 t	(再資源化・縮減率)	98.7 t	100%
木くず	782.57 t	(再資源化率)	305.6 t	39%
廃プラスチック類	0.35 t	(再資源化率)	0.35 t	100%
混合廃棄物	43.87 t	(再資源化率)	43.87 t	100%

イ. 予測条件の状況

ア) 樹木整理（移植、伐採）の実施状況

計画地内の既存樹木のうち、健全度が良好で樹形の良い高木 38 本については場内に移植を行った。

伐採樹木については、場外に搬出し、中間処理施設で再資源化を行った。

ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.5-4 に示すとおりである。廃棄物に関する苦情はなかった。

表 6.8.5-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・計画地内の既存樹木のうち、健全度が良好で樹形の良い高木約40本を選定し、移植を行う計画としている。	樹木診断により、移植に適していると判断された高木 38 本を移植した。(写真 6.8.5-1～写真 6.8.5-3)
・伐採樹木については、一部、園内利用を図るとともに、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を検討する。	伐採樹木については、一部を園内のベンチ等として利用したほか、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとして利用した。(写真 6.8.5-4～写真 6.8.5-6)
・工事事務所等で発生する軍手類、乾電池及び蛍光灯等についても、徹底した分別を行い再資源化に努める。	事務所内で発生した一般廃棄物は分別回収し、再資源化に努めた。(写真 6.8.5-7)
・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。	工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。
・産業廃棄物が発生した場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び東京都廃棄物条例に基づき、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する。	建設廃棄物の処理・処分は、運搬・処分の許可を得た業者に委託し、その状況をマニフェストで確認した。



写真 6.8.5-1 移植後のケヤキ



写真 6.8.5-2 移植後のサクラ類



写真 6.8.5-3 移植後のトチノキ



写真 6.8.5-4 廃棄物の搬出



写真 6.8.5-5 製材ベンチ



写真 6.8.5-6 伐採樹木の搬出先



写真 6.8.5-7 分別回収の状況

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等

建設発生土については全量現場内での利用を行い、廃棄物としての発生はなかった。

コンクリートガラ 453.89t、コンクリート・アスファルトガラ 16.02 t、その他がれき類 98.7t については場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。

木くず（伐採樹木）については、一部を園内のベンチ等として利用したほか、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとして利用した。

廃プラスチック類 0.35t、混合廃棄物 43.87 t については、場外に搬出し、中間処理施設にて全量再資源として活用した。

木くず（伐採樹木）については、再資源化率が予測結果を下回ったものの、その他の廃棄物の再資源化率は 100%であった。

なお、廃棄物の発生量及び再資源化量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。

6.8.6 エコマテリアル

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.6-1 に示すとおりである。

表 6.8.6-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品調達方針
ミティゲーションの実施状況	・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図る計画である。 ・「平成28年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」を踏まえ、環境物品等の活用を積極的に進める。 ・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画である。 ・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。 ・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.6-2 に示すとおりである。

表 6.8.6-2 調査手法

調査事項		エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項及び予測条件の状況

イ) エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

エコマテリアルの利用状況は、表 6.8.6-3 に示すとおりである。なお、エコマテリアル利用量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。

表 6.8.6-3 エコマテリアルの利用状況

品目分類		利用量	備考
特定建設資材	再生アスファルト混合物	4.0t	
その他の建設 資材	土砂	17,480m ³	東京都建設発生土再利用センターより搬入
		6,689m ³	都立公園整備工事より搬入
	碎石	4,800m ³	再生クラッシュランを利用
		3m ³	再生粒度調整碎石を利用

イ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.6-4 に示すとおりである。エコマテリアルに関する苦情はなかった。

表 6.8.6-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図る計画である。	盛土材として、都内の仮置き場から建設発生土を搬入した。 (写真 6.8.6-1)
・「平成28年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」を踏まえ、環境物品等の活用を積極的に進める。	建設資材として、再生アスファルト混合物、東京都建設発生土再利用センター及び都立公園整備工事から発生した土砂を活用した。また、舗装の上層路盤材には再生粒度調整碎石等を調達した。
・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画である。	今回の工事では、これまで定められていた環境物品等により十分な対応が行えたことから、新たに開発・実用化された素材の利用は行わなかった。
・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。	工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。
・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。	エコマテリアルの使用状況について、調達品目、数量をフォローアップにより確認した。



写真 6.8.6-1 建設発生土搬入

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

建設工事に当たっては、「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」（平成 28 年 4 月 東京都）に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

なお、エコマテリアル利用量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。

6.8.7 公共交通へのアクセシビリティ

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.7-1 に示すとおりである。

表 6.8.7-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・ 工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度
予測条件の状況	・ 工事用車両の走行の状況 ・ アクセス経路における歩車動線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・ 工事用車両の走行ルートは、計画地までのアクセス性への配慮のため主に一般国道357号線（湾岸道路）を利用する。 ・ 工事用車両の出入口には交通整理員を配置する計画とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。 ・ 一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。 ・ 夢の島公園内の園路等を占用する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保する。 ・ 工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底する。 ・ 工事工程の平準化や施工計画の検討により、工事用車両が集中しないこと等に努める。 ・ 工事用車両の走行に当たっては、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.7-2 に示すとおりである。

表 6.8.7-2 調査手法

調査事項		工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) 工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度

新木場駅及び夢の島バス停から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式とガードレールにより歩道と車道が分離されている。また、工事用車両の走行ルートである臨港道路新砂・夢の島線はかもめ橋を利用して横断する構造となっているため、立体的に車道と分離されている。

事業の実施に伴い、夢の島公園内の園路の一部に通行規制が生じたが、代替路を設定するとともに、園路と工事用車両の走行ルートが重複した区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員の配置が行われた。

また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置することで円滑な移動を促し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。

イ. 予測条件の状況

ア) 工事用車両の走行の状況

工事用車両の走行ルートは、図 4.3-2 に示すとおりである。

イ) アクセス経路における歩車動線分離の状況

「ア. 予測した事項」に示すとおり、近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路はマウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員の配置が行われた。

ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.7-3 に示すとおりである。公共交通へのアクセシビリティに関する苦情はなかった。

表 6.8.7-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・工事用車両の走行ルートは、計画地までのアクセス性への配慮のため主に一般国道357号線（湾岸道路）を利用する。	安全教育等を通じて、運転者には、湾岸道路の使用など走行ルートの限定に関して事前指導し、アクセス性への配慮に努めた。（写真 6.8.7-1）
・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する計画とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。	工事用車両が出入するゲートには、交通整理員を配置した。（写真 6.8.7-2）
・一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。	一般来園者が通行する園路を工事で使用したので、保安用品を用いて歩車道分離を行うほか、交通整理員を配置した。（写真 6.8.7-3）
・夢の島公園内の園路等を占用する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保する。	夢の島公園内の園路等を占用する工事を行ったので、代替路を設定するとともに、交通整理員を配置し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。（写真 6.8.7-4～写真 6.8.7-5）
・工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底する。	安全教育等を通じて、規制速度の厳守、安全走行の徹底等、運転者へ指導を行ったほか、速度規制や安全走行を呼びかける看板の設置を行った。（写真 6.8.7-1、写真 6.8.7-6）
・工事工程の平準化や施工計画の検討により、工事用車両が集中しないこと等に努める。	工事用車両（主にダンプトラック、生コンクリート車等）の総量を調整し、集中を避けた。
・工事用車両の走行に当たっては、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。	工事用車両は極力施工ヤード内に誘導するとともに、安全教育等で周辺市街地での待機や違法駐車防止の徹底について指導を行った。（写真 6.8.7-1）



写真 6.8.7-1 安全教育



写真 6.8.7-2 交通整理員の配置



写真 6.8.7-3 交通整理員の配置



写真 6.8.7-4 園内安全対策



写真 6.8.7-5 代替路に関する看板



写真 6.8.7-6 規制速度の厳守、安全走行の
看板

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) 工事車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度

近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、事業の実施に伴い、夢の島公園内の園路の一部に通行規制が生じたが、代替路を設定するとともに、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。

また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置することで円滑な移動を促し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。これらのミティゲーションの実施により、公共交通からのアクセス性を確保した。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考える。

6.8.8 交通安全

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.8-1 に示すとおりである。

表 6.8.8-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度
予測条件の状況	・工事用車両の走行の状況 ・アクセス経路における歩車動線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・工事用車両の走行ルートは、計画地までの交通安全への配慮のため主に一般国道357号（湾岸道路）を利用する。 ・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する計画とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。 ・一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。 ・夢の島公園内の園路等を占用する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設利用者、公園内散策コース利用者の安全を確保する。 ・工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底する。 ・夢の島公園内は低速度で走行し、公園利用者の通行を優先するよう指導を徹底する。 ・工事用車両の集中稼働を行わないよう、工事工程の平準化に努める計画である。 ・工事用車両の走行に当たっては、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。 ・作業員の通勤は可能な限り公共交通機関を利用するよう指導し、自動二輪車又は自転車で通勤する場合は、それらの作業員を把握するとともに、作業員用の十分な駐輪スペースの確保を徹底させる。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.8-2 に示すとおりである。

表 6.8.8-2 調査手法

調査事項		アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項

ア) アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度

新木場駅及び夢の島バス停から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式とガードレールにより歩道と車道が分離されている。また、工事用車両の走行ルートである臨港道路新砂・夢の島線はかもめ橋を利用して横断する構造となっているため、立体的に車道と分離されている。

事業の実施に伴い、夢の島公園内の園路等の通行規制は生じなかったが、園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員の配置が行われた。園内を走行する車両に対しては速度規制や安全走行について安全教育等で指導したほか、看板での周知を図った。

また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。

イ. 予測条件の状況

ア) 工事用車両の走行の状況

工事用車両の走行ルートは、図 6.2-1 に示すとおりである。

イ) アクセス経路における歩車動線の分離の状況

「ア. 予測した事項」に示すとおり、近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路はマウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員の配置が行われた。

ウ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.12-3 に示すとおりである。交通安全に関する苦情はなかった。

表 6.8.8-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・ 工事用車両の走行ルートは、計画地までの交通安全への配慮のため主に一般国道357号（湾岸道路）を利用する。	安全教育等を通じて、運転者には、湾岸道路の使用など走行ルートの限定に関して事前指導し、アクセス性への配慮に努めた。（写真 6.8.8-1）
・ 工事用車両の出入口には交通整理員を配置する計画とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。	工事用車両が出入するゲートには、交通整理員を配置した。（写真 6.8.8-2）
・ 一般来園者の通行ルートにおける道路保安用品による歩車道分離等も含めた交通安全対策の実施、交通整理員の適切な配置を行う。	一般来園者が通行する園路を工事で使用したので、保安用品を用いて歩車道分離を行うほか、交通整理員を配置した。（写真 6.8.8-3）
・ 夢の島公園内の園路等を占有する工事を行う場合には、代替路を設定するとともに、交通整理員の配置等を計画し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設利用者、公園内散策コース利用者の安全を確保する。	夢の島公園内の園路等を占有する工事を行ったので、代替路を設定するとともに、交通整理員を配置し、夢の島熱帯植物館等夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。（写真 6.8.8-4～写真 6.8.8-5）
・ 工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底する。	安全教育等を通じて、規制速度の厳守、安全走行の徹底等、運転者へ指導を行ったほか、速度規制や安全走行を呼びかける看板の設置を行った。（写真 6.8.8-1、写真 6.8.8-6）
・ 夢の島公園内は低速度で走行し、公園利用者の通行を優先するよう指導を徹底する。	安全教育等を通じて、規制速度の厳守、安全走行の徹底等、運転者へ指導を行った。
・ 工事用車両の集中稼働を行わないよう、工事工程の平準化に努める計画である。	工事用車両（主にダンプトラック、生コンクリート車等）の総量を調整し、集中を避けた。
・ 工事用車両の走行に当たっては、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。	工事用車両は極力施工ヤード内に誘導するとともに、安全教育等で周辺市街地での待機や違法駐車防止の徹底について指導を行った。（写真 6.8.8-1）
・ 作業員の通勤は可能な限り公共交通機関を利用するよう指導し、自動二輪車又は自転車通勤の場合は、それらの作業員を把握するとともに、作業員用の十分な駐輪スペースの確保を徹底させる。	朝礼や工程会議等で工事作業員の通勤には公共交通機関を利用するよう指導を行い、実施状況について確認を行った。また、自動二輪や自転車用の駐輪スペースを十分に確保した。（写真 6.8.8-7）



写真 6.8.8-1 安全教育

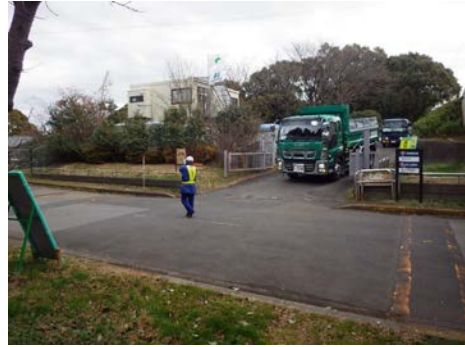


写真 6.8.8-2 交通整理員の配置



写真 6.8.8-3 交通整理員の配置



写真 6.8.8-4 園内安全対策



写真 6.8.8-5 代替路に関する看板



写真 6.8.8-6 規制速度の厳守、安全走行の
看板



写真 6.8.8-7 自転車用の駐輪スペース

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度

近接する駅等から夢の島公園までのアクセス経路は、マウントアップ形式、ガードレール及び歩道橋により歩道と車道が分離されている。また、夢の島公園の園路と工事用車両の走行ルートが重複する区間については、道路保安用品による歩者分離等も含めた交通安全対策や交通整理員を配置することで、歩行者空間を確保して影響を低減した。

また、夢の島公園内や施設の近辺に案内看板を設置し、夢の島熱帯植物館等の夢の島公園内の施設へのアクセス経路を確保した。園内を走行する車両に対しては速度規制や安全走行について安全教育等で指導したほか、看板での周知を図った。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

6.8.9 その他の項目に係るミティゲーションの実施状況

その他の項目に対してのミティゲーションについて以下に記載する。

(1) 土壌

工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

(2) 史跡・文化財

工事の実施に伴い新たな史跡・文化財は確認されなかった。